

小名浜三小 学校だより

No.13

平成29年10月17日

校長 岡 亮

くすのき

きっかけづくりの大切さ

久しぶりの学校だよりです。9月1日以来ですが、その間、ホームページは200回ほど更新しております。ぜひ学校の様子や情報は、ホームページからも得てください。

さて、先日の県PTA大会の講演の講師は、**矢内廣さん**でした。講演後、あるお母さんが「子どもに“夢”を持たせたいと思うけれど、あきらめてしまうことが多い」と相談しました。矢内さんは、「あきらめる、と言っても、自分がやりたいと思っていることをあきらめたのか、それとも、親や先生に『やりなさい』と言われて、それを自分の夢であるかのように思わされて、『やっぱり自分の夢じゃないな』と思ったのを、大人から見て『あきらめた』と決めているのか」と指摘されていました。

そして、「子どもは、自分がしたいこととか、こういうふうになりたいとか、そんな意志は最初から持っていない。そういう気持ち（自分で見つけるんだ、自分で創るんだ）にさせるには、本人が面白い、もっとやってみたいという方に仕向けること。それがやがて“夢”になっていくのでは？」とおっしゃっていました。

これは、言い換えれば「きっかけづくり」だと思います。

神保さんはどうでしょう

先週4年生は、車いすバスケット元日本代表の**神保康広さん**とのふれあい学習を行いました。体験的なものも含めて、福祉に関する学習を重ねてきた4年生ですが、下半身が動かない人が車いすを自在に操り、遠い距離からゴールを決める姿は、強烈に印象に残ったことと思います。

神保さんは、16のときバイク事故で下半身不随になりました。ご本人いわく「ヤンキー」の高校生で、もともと夢のようなものもなかったけど、事故で足が動かさなくなったため絶望し、1年半引きこもりの生活を送ったそうです。18になって車いすバスケットと出会います。熱心に誘った知人がいたのだそうです。

神保さんにとっては、この知人による車いすバスケットへの誘いが人生を変えるきっかけだ

ったと思います。そして、4年生の誰かにとっては、神保さんのお話を聞いたことそのものが、何かのきっかけになっているのではないかと思うのです。



矢内 廣氏

いわき市四倉町出身。
びあ代表取締役社長。
大学時代に総合情報雑誌「びあ」を創刊。
チームスマイル代表理事。



神保 康広氏

東京都墨田区生まれ。90年千葉ホークスに。バルセロナ、アトランタ、シドニー、アテネとパラリンピックに4回連続出場。2000年単身で渡米。障害を持ったジュニアのスポーツプログラムを学びながら、全米車椅子バスケット協会2部で活動。翌年には全米選手権優勝。02年には1部の強豪デンバーナゲッツに移籍。最終成績は、03年の全米選手権ベスト4。06年に青年海外協力隊でマレーシアに渡り、車椅子バスケットの普及に務める。

仙台フィルはどうでしょう

また、先週は鑑賞教室（文化芸術による子供の育成事業・巡回公演事業／主催・文化庁）も開かれました。70名もの団員さんがおいでになり、一流の音を聞かせてくれました。（プロのオーケストラが来られるということで、受け入れには万全を期しました。）

音楽には、興味や関心が高い子、低い子がいます。興味があっても、クラシックは好きではないという子も（親も？）いるでしょう。今回も、聞いたことのない曲ばかりだったかも知れませんが、「星条旗よ永遠なれ」では、リズムに乗ってワクワクした表情を見せる子がたくさんいました。校歌を歌ったときには、普段とは違うオーケストラの伴奏を聞いてゾクゾクしていたと思います。また、「モルダウ」では、6年生が描いてくれた絵を見ながら鑑賞したので、音で情景を表現できるのだということを知ったと思います。

もちろん、歌うこと、楽器を演奏することも楽しいですが、今回鑑賞することの楽しさが味わえて、音楽を好きになる「きっかけ」になった子もいるでしょうし、本格的に音楽を学びたいと思った子もいるかも知れません。



仙台フィルハーモニー管弦楽団
1973年に市民オーケストラとして誕生。翌年から定期演奏会を開催。78年プロ化。83年に芥川也寸志氏が音楽総監督に就任。89年「仙台フィルハーモニー管弦楽団」への改称とともに外山雄三氏が音楽監督に。2000年にはヨーロッパ公演を成功させる。06年にパスカル・ヴェロが常任指揮者に就任、現在に至る。いわきアリオスでも公演しており、「オーケストラとあそぼう」といった企画も実施している。コントラバスの名和俊さんはいわき市出身だが、現在ベルリンに留学中で残念ながら来校されなかった。

ドニーさんはどうでしょう

先月、5年生は市内のダンサー・ドニー坂本さんにダンスを楽しく教えていただきました。そのときは、愉快なおじさまに教えてもらっただけ…かも知れません。

が、6日にTUFで放送されたバラエティ番組『中居正広の金曜日のスマイルたちへ』でドニーさん夫妻の姿が映し出されました。もちろん番組はキンタロー・ロペス組の頑張りを紹介するものでしたが、ドニー組が過去に最高成績を残した日本人と紹介され、試合でも踊っている様子が映し出されました。番組を見れば、すごい人に教わったのだと改めて思うのですが、こういったことを紹介するのも私たちの仕事ですね。

今回、いろいろ紹介しましたが、共通することは「プロ」「すごい人」「努力の人」「チャレンジした人」といったことです。本校の今年度のテーマは、既にお知らせしたとおり「夢に向かってチャレンジし続ける心を」です。学校の通常の教育活動でも子どもたちに夢を持つ大切さは伝えていますが、こういったすごい人との出会いは、大きな「きっかけ」になると思っています。

バザーご協力ありがとうございました！

9月30日の親子バザーに際しては、物品のご提供、準備、仕入れ、仕込み、調理、販売等の運営、片付け、駐車場整理、そしてご購入にご協力をいただくなど大変お世話になりました。おかげさまでたくさんの収益があったようです（詳しくは後日お知らせします）。